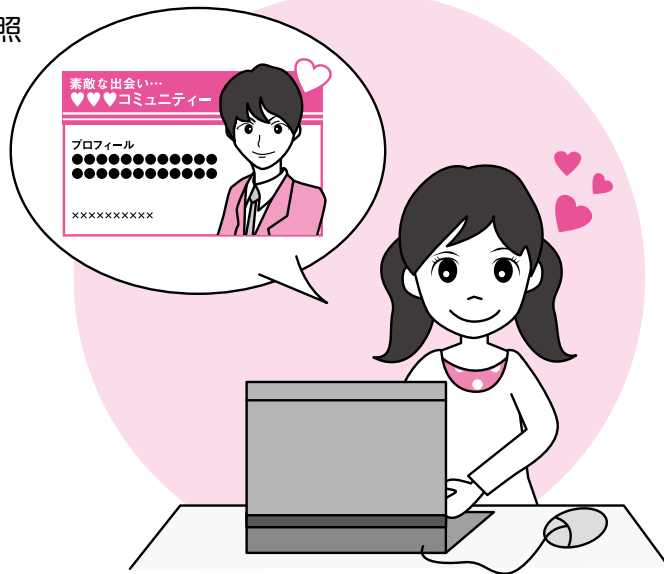


事例7 インターネットへの悪ふざけの書き込み

栄子さんは人気のあるSNS（※）をよく利用していて、利用者同士で情報交換などを楽しんでいました。最近同じSNSを、クラスメートのよし子さんも利用するようになりました。

ある日、よし子さんは、栄子さんがカレ氏を欲しいという噂を聞いていたので、ちょっとしたイタズラのつもりでSNSに「栄子さんはカレ氏を大募集しているですよ～」と書き込みをしました。それ以降、このSNS上で栄子さんに対する男性からの書き込みが殺到してしまいました。

（※）P33「SNS」参照



この事例の問題点は？



グループワークで考えてみましょう！

- SNSにイタズラの書き込みをすることについてどう思いますか？
- 子供がSNSでトラブルに巻き込まれたら、どのように対応しますか？
- SNSに書き込まない方がよいのはどんなことですか？



参照 P26 インターネット上でのコミュニケーションの注意点



親子で話し合うつもりで考えてみましょう!

子供と一緒にこの事例について考えた時、子供から次のようなことを言われた場合どのように対応しますか?

質問例①

子： 栄子さんはカレ氏が欲しいみたいだし、友だちが増えていいんじゃない?

親： その時、どのように答えますか。



質問例②

子： いたずらで書き込みをしても、誰かに消してもらえば問題ないんじゃない?

親： その時、どのように答えますか。



この例のほかにも、子供が質問しそうなこと、相談しそうなことを話し合ってみましょう。



実際に「ルール」を作ってみましょう!



作り方は35ページ!

子供が宣言したルールを守れていれば「○」、守れていないときには「×」をつけましょう。



私の宣言書 (子供に宣言させましょう)	1週間後	2週間後	
子供の宣言文：私は、インターネット上では、相手の立場を考えて書き込みをします。 約束を守れなかったら、1週間、インターネットにはアクセスしません。			
子供の宣言文：私は、インターネット上で、嫌なことや迷惑なことを書き込まれたら、 親や先生に相談します。 約束を守れなかったら、			
子供の宣言文：私は、インターネット上で、個人を集団でいじめるようなことには 加わりません。 約束を守れなかったら、			
子供の宣言文：私は、 約束を守れなかったら、			